

「芸術の秋」力作がずらり！

笠松町美術展実行委員会

第三十七回笠松町美術展が十一月三日から五日まで、中央公民館・町民体育館で開催されました。

三日には、オープニングセレモニーが行われ、待ちかねた皆さんが会場に詰めかけました。

日本画、水墨画、洋画、版画、彫塑・工芸、書、写真、デザインの部門に三百十五人から

の四百三十点の作品が展示されました。三日間で町内外から千二百人程の参観者が来場し、力作に感心しながら見入っていました。

また、企画運営委員の皆さんによるチャリティ小品展が同時に開催され、その収益金は町社会福祉協議会へ寄附されました。



じっくりと洋画を鑑賞する参観者

生涯学習発表会が、11月18日に中央公民館で行われ、日ごろの学習の成果が発表されました。

会場には、写真、習字、生け花、木版画など23講座の多数の作品が展示されました。

また、大ホールでは、体操、コーラス、オカリナなど13講座のステージ発表があり、今年から開講されたフラダンスの披露もあり訪れた皆さんを楽しませました。



フラダンスのステージ発表



フラワーアレンジメントの作品展示

生涯学習発表会

作品の展示・ステージ発表を披露

楽しい競技に笑顔

町老人レクリエーション大会



参加者全員でじゃんけんポン

町と老人クラブ連合会共催の老人レクリエーション大会が10月30日、町民体育館で開催され、60歳以上の元気なお年寄りたち570人が11種目の競技を楽しみました。

この大会は、高齢者の健康と生きがいづくりを目的に、毎年行われているもので、「数字が倒れてポン」や「今日は大物釣るね」などの競技に会場は元気なお年寄りの笑顔であふれました。

寝たきりの かたを訪問

町赤十字奉仕団

町赤十字奉仕団の皆さんが十一月二日、在宅で寝たきりのお年寄り（七十歳以上）を訪問され、介護をされているご家族の労をねぎらうとともに、お見舞い品を贈り激励しました。

お年寄りたちは、心のこもった訪問に感謝され、奉仕団の皆さんと和やかなひとときを過ごされました。